

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340063 001

【1.基本情報】

事業名	いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題対策委員会				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 26 年度～	年度	根拠法令・関連計画	いじめ防止対策推進法 岐阜市いじめ防止対策推進条例	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市いじめ防止等対策推進条例により、いじめ問題対策連絡協議会にいじめ防止等に関する機関及び団体と連携を図り、教育委員会の附属機関として、いじめ問題対策委員会にて学校におけるいじめ防止等対策を実効的に実施する。
事業の内容		いじめ問題対策連絡協議会の委員を委嘱し、いじめ防止等に関する機関及び団体との連携を図る。
事業の対象	何を	いじめ問題対策
	誰に	市立小中学生、市立高校生、市立特別支援学校生
	どのくらい	いじめ問題対策連絡協議会 2回／年 いじめ問題対策委員会 2回／年(平時) 重大事態発生時は臨時に開催。
令和3年度 (実施内容)		いじめ問題対策委員会 1回 (書面決裁) 重大事態調査第三者派遣 3回 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、いじめ問題対策連絡協議会は中止。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	102,000	3,000	325	10	388	12
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	102,000	3,000	325	10	388	12

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		3,117	211	48
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	988	110	46
	実費弁償	85	12	2
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,117	211	48

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	105,117	536	436

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	105,117	536	436

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市立小中高特別支援学校児童生徒	市立小中高特別支援学校児童生徒	市立小中高特別支援学校児童生徒
受益者数	30,651	30,458	30,073
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,429	18	14

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	いじめ問題対策委員会、いじめ問題対策連絡協議会	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	4	4	4
実績値	17	4	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	いじめ問題対策委員会、いじめ問題対策連絡協議会	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	4	4	4
実績値	17	4	1
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市いじめ防止対策推進条例による。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	協議会を通じて専門的な知見を得ることができる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	専門的な知見をもとに対応を協議できる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	専門的な知見をもとに対応を協議したり、連携したりしながら支援ができる。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	複雑化するいじめ問題への対応を協議していくために必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	学校の課題解決に資するアセスメントシステム開発事業				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜大学
実施期間	令和元年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市契約規則 岐阜市と岐阜大学との連携に関する協定	

【2.事業概要】

事業の目的		児童生徒の抱える「内面の問題」「環境の問題」をアンケートにより調査し、その結果に基づいた指導・支援を、個や集団に対して行うことで、いじめを始めとする生徒指導上の問題を未然に防止すること
事業の内容		学校教育における課題に関して、データベースとして蓄積された客観的根拠に基づき、アセスメント結果で判明した学校課題と、課題の有効な解決方法とをパッケージ化して学校に還元するシステムを市内小中学校に展開する。
事業 の 対 象	何を	問題行動の未然防止や問題の解決に有効な解決方法
	誰に	市内全中学生、及び全小学校4、5、6年生
	どのくらい	小学校46校、中学校23校
令和3年度 (実施内容)		令和元年度では、試行的に実施したアセスメントシステムを改善するとともに、令和2年度以降は、市内全小中学校で導入されたタブレット端末によるアンケートを実施した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	813	25	808	25
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	680	20	813	25	808	25

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,030	900	900
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	1,030	900	900
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,030	900	900

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,710	1,713	1,708

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,710	1,713	1,708

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中学校児童生徒	小中学校児童生徒	小中学校児童生徒
受益者数	2,125	19,621	19,593
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	805	87	87

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	アンケートを実施した市内小中学校		単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	8	68	69	
実績値	8	68	69	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	アセスメントフィードバックシステム実施率		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	100	100	100	
実績値	100	100	100	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	学校教育における課題は教科指導、生徒指導、学級経営、学校運営など多様。エビデンスに基づく学校教育の必要性を背景に、これらの学校課題の現状について信頼性・妥当性のあるアセスメントが求められている。
		岐阜市と岐阜大学との連携に関する協定に基づいた、アセスメントシステムの開発・展開が可能である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	学校の課題には、学級集団の形成に係るもの、教育相談に係るもの、問題行動に係るもの、いじめに係るものなどがある。それらの課題の要因について確認をすることができるが、学校現場で生かされにくい面がある。
		アンケートにはタブレットを活用し、およそ2万人のデータの集積、分析が短時間でできる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	データベースとして蓄積された客観的根拠に基づき、アセスメント結果で判明した学校課題と、課題の有効な解決方法とをパッケージ化して学校に還元するアセスメントシステムを実施する有効性は大きいと考えるが、アセスメント結果については、各学校でそれらの結果を踏まえた有効な対策が講じられにくいといった問題がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	令和3年度は、市内全小中学校に対し、アンケートを実施した児童生徒の結果をフィードバックするとともに、子どもたちが抱える内面や環境の問題を理解し、有効な手立てを講じるための研修を行った。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	膨大なデータ分析に基づいたアセスメント結果は、児童生徒のもつ特性や環境の問題を理解するための有効な手立てとなるが、現在起きている児童生徒の問題行動に対してどのような対策を講じればよいかという具体的手立てに欠けるため、学校現場ですぐに使えるものとなっていない。今後は事業継続のためには、アセスメント結果を現場でどのように生かすのかという視点でのプログラム開発が必要となる。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	遠距離通学児童生徒通学費補助金				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 56 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市遠距離通学児童生徒通学費等補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		遠距離から通学する者並びに特別支援学級に通学する者及び通級指導教室に通級する者について、それに要する費用(通学費)の一部を補助し、もって保護者の負担の軽減を図る。
事業の内容		小学校 片道4キロメートル以上、中学校 片道6キロメートル以上、特別支援学級に通学又は、通級指導教室に通級 小学校 片道2キロメートル以上、中学校 片道3キロメートル以上から通学(通級)している児童・生徒に対し、公共交通機関運賃、他の交通器具等を利用する費用の一部を援助する。加えて、令和3年4月に開校した草潤中学校では、岐阜市全域からの通学及び通級となるため、登校する生徒の保護者への支援を行う。
事業の対象	何を	通学費
	誰に	遠距離通学している児童・生徒（小学校258人、中学校87人）
	どのくらい	公共交通機関を利用する児童・生徒は運賃の2分の1、公共交通機関を利用しない児童・生徒については、均一バス料金の4分の1を援助。
令和3年度 (実施内容)		小中学校の特別支援学級等に在籍する児童生徒に関わる教育費の一部を援助し、特別支援教育の振興を図った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,020	30	975	30	969	30
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,020	30	975	30	969	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,205	1,109	1,609
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	小学校分	618	585	660
	中学校分	587	524	949
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,205	1,109	1,609

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,225	2,084	2,578

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	2,225	2,084	2,578

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	遠距離通学児童生徒の保護者	遠距離通学児童生徒の保護者	遠距離通学児童生徒の保護者
受益者数	329	312	345
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,763	6,679	7,472

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	助成した保護者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	300	300	300
実績値	329	312	345

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	就学支援相談件数	単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	500	500	500
実績値	608	595	591
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	保護者の経済的負担を軽減することで、児童生徒が適切な指導を受ける機会を無理なく選択可能とするため。 市立小中学校については、市で実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	就学支援相談件数の増加に繋がっている。 個人情報を取り扱うことから現状が効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	通級指導教室に通級する者が増加していることから、効果は得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	基準に基づいており、適切である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	特別な支援の提供を希望する保護者にとり、継続が必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340063 004

【1.基本情報】

事業名	要保護および準要保護児童生徒援助費(就学援助)				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	—	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和 31 年度～	年度	根拠法令・関連計画	学校教育法第19条	

【2.事業概要】

事業の目的		教育の機会均等の法の趣旨から、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うため。
事業の内容		経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、学用品費等、給食費の援助を行う。
事業の対象	何を	新入学児童生徒学用品費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、給食費、卒業アルバム代
	誰に	就学援助認定児童生徒の保護者
	どのくらい	国で定められている就学に必要な補助対象単価にて援助する。
令和3年度(実施内容)		経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、学用品費等、給食費の援助を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	260	8,450	260	8,398	260
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	470	100	720	150	1,056	220
計(A)	9,310	360	9,170	410	9,454	480

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		351,679	351,459	370,197
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	児童保護者への援助	197,254	215,584	224,767
	生徒保護者への援助	154,425	135,875	145,430
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		351,679	351,459	370,197

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		360,989	360,629	379,651

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		1,073	58	440
県支出金		246	127	
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		1,319	185	440

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		359,670	360,444	379,211

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	経済的な理由で就学困難な学齢児童	経済的な理由で就学困難な学齢児童	経済的な理由で就学困難な学齢児童
受益者数	3,666	3,855	4,175
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	98,110	93,500	90,829

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	準要保護認定者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	4,383	4,360	4,867
実績値	4,273	4,402	4,588

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	就学援助率	単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	11.8	11.6	12.7
実績値	12.6	12.5	13.7
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	すべての学齢児童生徒が等しく義務教育を享受するために必要な援助である。 非常に高度な個人情報を取り扱うため現状が適切である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助金の支給を通じて、特別支援教育の奨励と保護者の負担軽減に一定の効果があつた。 非常に高度な個人情報を取り扱うため現状が適切である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	経済的な事情により子どもを就学させることが困難な家庭の負担を軽減することができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	生活保護の基準額による所得審査、児童扶養手当の受給などの書類審査により認定を行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	貧困の連鎖により子どもが教育を受ける権利が損なわれることがないよう、今後も適切な支援が必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	「危険から自分を守ろう」事業				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 22 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市内においても、声かけ、追いかけ、わいせつ事件に加え、スマホ等による撮影によってネット被害に発展しかねない事案等、不審者による事件は後を絶たない。また、交通事故の危険性、荒天時での河・用水路における危険性も心配される。各小学校では、児童自身の危機対応能力を高める取組、地域で見守る体制作りを進めているが、さらなる安全教育の推進に市の予算措置を講じていく必要がある。
事業の内容		地域の見守り活動推進者を対象に保険の加入と研修会の実施を行う。
事業の対象	何を	ボランティア活動保険
	誰に	地域の見守り活動推進者
	どのくらい	約2,500名
令和3年度 (実施内容)		子ども見守り隊への参加の啓発、ボランティア保険の加入、研修会を実施し、地域の見守り活動の推進を図った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	170	5	163	5	162	5
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	170	5	163	5	162	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,420	1,320	1,298
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	0	0	0
	消耗品費	84	0	0
	保険料	1,313	1,320	1,298
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,420	1,320	1,298

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,590	1,483	1,460

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,590	1,483	1,460

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小学校児童・保護者	小学校児童・保護者	小学校児童・保護者
受益者数	40,000	40,000	30,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	40	37	49

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	岐阜市子ども見守り隊 登録人数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2,500	2,500	2,500
実績値	2,564	2,640	2,596

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	事故件数	単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	150	150	150
実績値	106	123	108
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか（民間・国・県） ※【1】【2】から	高	声かけ、追いかかけ、わいせつ、盗撮事案等、不審者情報の報告は多い。また、交通事故、荒天時、災害時等の危険性も心配されている。「普段安全であると考えられる場所であっても、危険は潜んでいる」と学校、家庭、地域が一体となっていく必要があるため、本事業の必要性は十分にある。 各小学校において、児童の「危機対応能力」を高める取組、地域で子どもたちを見守る体制作りを進めているが、さらなる安全教育の推進に市の予算措置を講じていく必要がある。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか （広域・民間活用・市民協働） ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ほとんどの小学校で、岐阜市子ども見守り隊への協力体制が構築されており、協力いただくすべての方を対象に保険に加入していただくことで、誰もが安心して活動できる環境整備が十分にできている。 市民生活部や基盤整備部などの他の部局とも連携を図りながら、地域の見守り体制の構築や通学路の整備に反映させていきたい。
有効性 期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	見守り隊の方の協力のおかげで、大きな事故は起きていない。事故件数としては、令和3年度は約120件、令和4年度は約110と減少した。また、不審者による大きな被害は報告されていない。
公平性 （受益者及び受益者負担は適正か） ※【2】【6】【7】から	高	受益者負担はない。各小学校から、年間を通して申請される追加登録に対して、十分に対応できている。
【総合評価】 （現状維持・改善（統合・縮小含む。）・廃止）	現状維持	見守り活動に対する関心やニーズが高まっていること、また、協力いただける方に安心して活動していただくために、令和3年度と同様にすべての方に保険加入をしていただく必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	006
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	スクールロイヤー事業				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 30 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		いじめ、不登校、虐待など、子ども達を取り巻く問題が複雑・多様化し、学校の教職員だけでは対応困難な事例が増えつつある学校現場において、保護者や地域の方と信頼関係を築きつつ、子ども達を取り巻く問題の解決に当たるため、弁護士への相談等を通じて支援を受けることを目的とする。
事業の内容		市内を5ブロックに区分し、各ブロック1名の担当弁護士が域内の学校を対象に下記の1～3の業務を実施する。 1 研修:法務研修の実施 2 訪問:担当弁護士が学校を訪問し、助言と支援を提供 3 相談:学校からの電話・メール・直接面談で受けた質問に対する助言
事業 の 対 象	何を	スクールロイヤー
	誰に	市立幼稚園・市立小中学校・市立特別支援学校・市立高等学校(計:73校(園))
	どのくらい	スクールロイヤー5名
令和3年度 (実施内容)		1 研修:管理職を対象にした法務研修を3回実施した(①6月10日・②11月17日・③1月19日) 2 訪問:担当弁護士が各担当校に2回ずつ定期訪問し、助言と支援を提供した。 3 相談:5ブロックで合計219件の相談があり、質問に対する助言をした。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	485	15
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	485	15

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,805	2,805	2,805
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	2,805	2,805	2,805
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,805	2,805	2,805

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	3,315	3,293	3,290

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	3,315	3,293	3,290

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市立幼小中高特別支援学校園児児童生徒	市立幼小中高特別支援学校園児児童生徒	市立幼小中高特別支援学校園児児童生徒
受益者数	30,814	30,609	30,214
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	108	108	109

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	法務研修		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	5	5	5	
実績値	5	5	5	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	管理職へのアンケート		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	90	90	90	
実績値	100	100	100	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	いじめ、不登校、虐待など、子ども達を取り巻く問題が複雑・多様化し、問題の解決に法的な知識が必要とされる場面が増え、学校の教職員だけでは対応困難な事例が増えつつある。 子ども達の誰もが安心して笑顔で学校生活を送れるようにする。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	法的根拠をもって、事案対応等を行うことができる。 研修や相談を通して教職員が専門的な知識を身に付けることができる。 学校が主体となって問題解決できる力を養う。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	専門的な知見に基づき対応方法について助言していただくことができ、自信をもって対応することができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	教職員が自信と心の余裕をもって、子どもたち一人一人と丁寧に向き合い、子ども達の健全な成長を育むことができる。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	教職員が、法律の専門家である弁護士の助言を得て、いじめ、不登校、虐待など、複雑・多様化した子ども達を取り巻く問題に対応していくために必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340063 007

【1.基本情報】

事業名	生徒指導サポーター				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 20 年度～	年度	根拠法令・関連計画	いじめ問題への緊急提言(政府:教育再生会議)	

【2.事業概要】

事業の目的		児童生徒の問題行動への対応や立ち直りのために、児童生徒及び保護者への具体的援助を学校内外で行うための人材を派遣する。また、増加している市民からの相談や緊急時対応に当たり、生徒指導の充実を図る。
事業の内容		問題行動を起こす児童生徒や保護者への指導及び支援や校内を徘徊する児童生徒への別室指導等個別的指導、いじめた児童生徒への指導及び支援やいじめられた児童生徒への支援などいじめや問題行動に関しての学校への指導援助並びに緊急時の対応をする。市民からのいじめや問題行動等の相談の対応をする。
事業の対象	何を	生徒指導サポーター
	誰に	市内の小・中学生、園児及びその保護者
	どのくらい	会計年度任用職員サポーター2名、臨時雇用サポーター25名
令和3年度(実施内容)		生徒指導サポーターを問題行動を起こす児童生徒等の対応に苦慮している幼稚園、小・中学校に派遣し、児童生徒への指導・支援を行った。いじめや問題行動等についての市民からの相談の対応を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	816	24	780	24	775	24
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	624	60	618	60	618	60
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,440	84	1,398	84	1,393	84

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		9,799	10,252	9,977
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	嘱託サポーター	2,674	2,828	2,813
	臨時雇用サポーター	7,125	7,424	7,164
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		9,799	10,252	9,977

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	11,239	11,650	11,370

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	11,239	11,650	11,370

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市立幼小中特別支援学校園児児童生徒	市立幼小中特別支援学校園児児童生徒	市立幼小中特別支援学校園児児童生徒
受益者数	30,814	30,609	30,214
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	365	381	376

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	サポート時間	単位	時間
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	4,900	4,900	3,900
実績値	3,794	4,040	3,508

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	派遣状況の比較	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	20	20	20
実績値	18	20	23
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	発達障がい(疑いを含む)が原因と思われる離席や授業妨害が増加傾向にある。 誰もが安心して授業等に取り組める環境を整える必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	個別の学習支援を行うことで、学力の向上につながる。 勤務経験や資格などを活かし、人間関係の構築に努めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	個別の支援を継続することで、離席や授業妨害が減少し、落ち着いて活動に取り組む姿が増えている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	学習機会の均等を図る必要がある。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	生徒のニーズに合った教育を提供していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スクールカウンセラー				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	令和 2 年度～	年度	根拠法令・関連計画	児童生徒の教育相談の充実に係る文部科学省通知等	

【2.事業概要】

事業の目的		いじめや不登校等の問題の未然防止、早期発見並びに問題発生時の適切な対応につなげることで、児童生徒が安心して生活できる学習環境を作ることを目的とする。
事業の内容		臨床心理士に関する専門知識を生かし、学校現場で児童や生徒及び保護者、教職員に相談・支援を行う。不登校やいじめ、親子関係、学習関連など様々な問題や心の悩みを抱えた児童・生徒に寄り添い、専門的な知識や技能を活かしてカウンセリングを行い、心のケアや早期の立ち直りを促す。保護者、教職員に対しては相談や専門的見地からの助言を行う。
事業の対象	何を	心の問題を抱えた児童生徒に対するカウンセリング
	誰に	心の問題を抱える児童生徒及びその保護者
	どのくらい	市内に6名
令和3年度(実施内容)		心の問題を抱えたのべ634人の児童生徒及びのべ294人の保護者にカウンセリングを行った。また、教職員に対する対象児童生徒の見立てやコンサルテーションは618回行うなど、多くの学校の要望に対応した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	-		780	24	775	24
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	-		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	-		0		0	
計(A)	-	-	780	24	775	24

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
			10,745	10,813
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費		10,703	10,771
	保険料		42	42
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
			0	0
計(D)=B+C		-	10,745	10,813

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		-	11,525	11,588

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	-	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	-	11,525	11,588

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者		小中学校児童生徒	小中学校児童生徒
受益者数		29,778	29,374
受益者負担額(千円)	－	0	0
受益者負担率(%)		0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)		387	395

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	岐阜市スクールカウンセラー対応時間数	単位	時間
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	－	2,100	2,100
実績値	－	2,100	2,112

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	児童生徒及び保護者のカウンセリングのべ回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	－	600	800
実績値	－	827	1,028
達成状況	－	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	近年、不登校児童生徒数や自傷行為児童生徒数は増加している。そのため、できるだけ多くの児童生徒の心の問題に寄り添い、対応していく必要性は高い。県費スクールカウンセラーは各中学校に配置されているが、小学校の対応が手薄になるため、市費スクールカウンセラーで、その部分を補う必要がある。 市費スクールカウンセラーを配置することにより、低学年から心に問題を抱えた児童に対応できる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市費スクールカウンセラーは、緊急支援として100時間をプールしながら勤務を調整するため、その活用度は高い。 緊急支援制度を設けることで、学校の事案に臨機応変に対応でき、その活用度は高い。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	令和3年度は、小学校児童を中心にのべ634人のカウンセリングを行うことができ、その需要度は高いといえる。また、継続的なカウンセリングも可能となり、心の問題を抱えた児童生徒に低学年から寄り添うことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市費スクールカウンセラーは一人あたり9～10校の小学校を担当している。そのため、毎月の勤務は1校あたり1、2回となるが、定期的に勤務することで継続的なカウンセリングが可能となっている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	近年、不登校や自傷行為の児童生徒数が増加していることを考えると、低学年から心の問題を抱えた児童生徒のケアを行っていくのは必要不可欠といえる。市費スクールカウンセラーは学校の需要に対応し、臨機応変に対応できることから今後も継続していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	009
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ほほえみ相談員				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 9 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市パートタイム会計年度任用職員Aの勤務条件に関する要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		不登校児童生徒の家庭訪問を中心とした訪問型支援によるふれあい活動を通して、発行復帰への支援を行っていく。
事業の内容		1 家庭に引きこもっている児童生徒の家庭を訪問し、ふれあい活動を行う。 2 引きこもりの児童生徒の活動の場を、家庭から徐々に広げる。 3 不登校児童生徒の学校復帰を支援する。 4 相談室(保健室)登校をしている児童生徒の学級復帰を支援する。 5 児童生徒とのコミュニケーションを図り、相談体制づくりを行う。
事業の対象	何を	不登校児童生徒への対応を図る相談員
	誰に	不登校児童生徒及び不登校傾向を示す児童生徒
	どのくらい	市内に23人(各中学校区に一人配置)
令和3年度(実施内容)		岐阜市内の不登校児童生徒に対し、ほほえみ相談員(23人)が家庭訪問をした回数は、のべ3408回、相談室等別室で対応した回数は、のべ10581回、教室で補助した回数は、のべ4234回と、大変多くの児童生徒に対し、支援を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	816	24	780	24	775	24
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	54,912	5,280	54,384	5,280	56,856	5,520
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	55,728	5,304	55,164	5,304	57,631	5,544

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		57,285	58,281	60,087
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	賃金	49,044	49,519	51,221
	共済費	7,626	8,288	8,350
	旅費	615	474	516
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		57,285	58,281	60,087

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	113,013	113,445	117,718

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	113,013	113,445	117,718

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中学校児童生徒	小中学校児童生徒	小中学校児童生徒
受益者数	29,971	29,778	29,374
受益者負担額(千円)	0	0	
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,771	3,810	4,008

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	家庭訪問延べ回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,800	2,000	3,000	
実績値	3,562	2,886	3,408	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	不登校出現率				単位	%
	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
目標値	小0. 5%未満	中3. 2%未満	小0. 7%未満	中3. 5%未満	小1. 5%未満	中4. 7%未満
実績値	小0. 96%	中4. 73%	小1. 5%	中4. 71%	小1. 9%	中5. 5%
達成状況	×（未達成）		×（未達成）		×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	不登校の児童生徒は、増加が止まらない。将来の自立のためにも、適切な早期対応が必要であり、ひきこもり状態にさせないこと、またひきこもり状態から一歩踏み出させることが重要である。そのためには、一人一人に応じた指導・支援を行うことが求められる。 岐阜市が設置者であることから、配置及び指導を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ほほえみ相談員は、各中学校に1人配置されており、中学校区の小学校にもかかわっていることから、活用の頻度は高い。 小中の連携を図る意味でも中学校区への配置は必要、また市内全ほほえみ相談員の資質向上を目指し、月に1回程度の割合で研修会を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	継続的な家庭訪問や、学校の相談室における支援により、学校復帰できたり、教室復帰できたりした児童生徒がいる。また、学校復帰にまで至らなくても、保護者以外の大人が関わることで、不登校児童生徒の社会性を育んでいくことに大きな意味を持つ。卒業式を迎えるにあたって、ほほえみ相談員への感謝を本人保護者ともに述べることで各中学校で見られることから配置の意味は大きいと考えられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	ほほえみ相談員1人あたりが担当する学校数は平均3.1校であるが、うち2人が5校を担当している。また、学校の規模により不登校児童生徒数も多い、少ないがある。こうした状況から、市内の全小中学校が公平であるとは言い難い。また、不登校児童生徒を主な対象としているため、通常登校している児童生徒へのかかわりは限られる。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	不登校児童生徒が全国的に増加している中、教師以外の大人が不登校支援に携わることは、児童生徒だけでなく、その保護者にとっても大きな意味を持つが、一人一人に応じた指導・支援が十分にできているとは言い難い面もあるため、複数配置という方向が考えられる。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	010
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ブロック生徒指導主事報酬				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成18 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市ブロック担当生徒指導主事の設置及び勤務の条件に関する要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		非行処理活動、非行防止活動において、リーダーシップを発揮し、非行の低年齢化・集団化・粗暴化・広域化に対処する。また、小中高の連携を図り、関係機関との連携を強化し、生徒指導の充実に努める。
事業の内容		①小中学校の生徒指導事案に対する積極的な助言・指導・援助 ②在籍校の生徒指導の充実 ③関係機関との連携強化
事業の対象	何を	ブロック担当生徒指導主事
	誰に	市内の小中学生及びその保護者
	どのくらい	ブロック担当生徒指導主事9名
令和3年度(実施内容)		小学校の生徒指導事案に対する積極的な助言、指導、支援や、在籍校の生徒指導体制の充実、関係機関との連携強化を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	816	24	780	24	775	24
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	3,370	324	3,337	324	2,966	288
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	4,186	348	4,117	348	3,742	312

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		899	741	659
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	ブロック担当生徒指導主事	899	741	659
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		899	741	659

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,085	4,858	4,401

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,085	4,858	4,401

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市内小中児童生徒	市内小中児童生徒	市内小中児童生徒
受益者数	29,971	29,778	29,374
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	170	163	150

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	ブロック担当生徒指導主事会	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	24	24	24
実績値	24	24	24

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	小中の連携・関係機関との連携	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	24	24	24
実績値	24	24	24
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	非行処理活動、非行防止活動において、非行の低年齢化・集団化・粗暴化・広域化に対処する必要がある。 児童虐待、問題行動等、関係機関と迅速に連携すべき事案が増加している。 問題の特性上、教職員が行うべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	情報を共有し、対処法を交流することで誠実・迅速・丁寧な対応を心がけている。 個人情報保護の観点から、学校が主体となって問題に取り組む必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	広域に発展する可能性のある問題や安全に関わる問題などにおいて、情報を共有し一貫した対応ができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	勤務時間外の対応や広域にまたがる事案の対応もあり、適切である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	SNS等の普及に伴い、交友関係が広域化してきており、問題行動への対処が必要である。 児童虐待、問題行動の複雑化等、関係機関と迅速に対応する必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340063 011

【1.基本情報】

事業名	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会負担金				
担当部名	教育委員会		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会
実施期間	昭和 60 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校児童生徒の生徒指導における健全育成および、非行防止の充実強化を図る。			
事業の内容		非行防止活動・非行処理活動・連携強化のための会議(岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会)			
事業の対象	何を	負担金			
	誰に	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会			
	どのくらい	小学校@2,500×46校、中学校@3,000×23校、市立岐阜商業高校@3,000×1校、岐阜特別支援学校3,000×1校			
令和3年度(実施内容)		新型コロナウイルス感染拡大予防のため、全ての協議会を中止した。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	680	20	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		189	0	0
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	小学校負担金	115	0	0
	中学校負担金	66	0	0
	特・高負担金	6	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		189	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		869	0	0

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		869	0	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会	岐阜市幼保小中高生徒指導研究協議会
受益者数	80	80	80
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	10,863	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	協議会等開催	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	7	7	7
実績値	7	3	3

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	実践事例集の作成	単位	—
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	有	有	有
実績値	有	有	無
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	校種間の接続をスムーズに行うことで、不登校や問題行動を未然に防止する必要がある。 園、学校が連携して園児・児童生徒の健全育成を行っていく必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現場の抱えている問題を交流し、対処法を学び合うことができる。 発達の段階に応じた支援を学び合うよう工夫している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	保護者対応や特性のある子どもたちへの対応を学び、自校の実践活かすことができる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	生徒指導における健全育成および、非行防止の充実を図ることができる。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	廃止	本協議会は、20年以上続いており、一定の成果はあった。協議会の目的・成果を鑑みると、常時の校種間の連携で十分であると考えられるため。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	012
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	学校飼育動物サポート事業				
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	学校安全支援課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	公益社団法人 岐阜県獣医師会
実施期間	平成11 年度～	年度	根拠法令・関連計画	家畜伝染病予防法	

【2.事業概要】

事業の目的		動物の適正な飼育管理と飼育体験等を通して「思いやり」や「命を大切にする心」の教育の充実を図り、児童(園児)の健全な育成を目指す。
事業の内容		毎年定期的に学校(園)を獣医師が巡回し、動物の健康管理や児童(園児)の動物への接し方を指導する。また、糞便検査や法に基づく予防接種を実施する。
事業 の 対 象	何を	適正な飼育環境と動物に対する正しい知識を備えること及び予防接種を行うこと
	誰に	実施校(小学校・幼稚園)において児童・園児と飼育動物
	どのくらい	年1回以上
令和3年度 (実施内容)		(1) 飼育施設の適正管理指導 (2) 飼育動物の飼い方指導 (3) 動物の健康診断 (4) 家畜動物伝染病予防法に基づく予防接種 (5) 人畜共通感染症予防指導 (6) 飼育動物の飼育相談、健康相談

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		745	759	759
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	巡回健診等	745	759	759
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		745	759	759

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	779	792	791

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	779	792	791

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	実施校	実施校	実施校
受益者数	19	19	15
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	41,000	41,684	52,753

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	予防接種		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	100	100	100	
実績値	100	100	100	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	細菌検査陰性率		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	獣医師による巡回指導を行い、感染症の予防等が必要なため。
		各小学校・園によって、飼育動物の有無や種類が異なるため、市が把握し管理する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	動物の健康診断、人畜共通感染症予防指導等を行うことによって、管理体制の強化が図れる。
		各小学校・園の飼育動物を把握している市が実施すべきである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	細菌監査陰性率が過去3年度100%であることから、効果が得られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	専門的知識をもった学校担当獣医師等の団体である(公社)岐阜県獣医師会のみが実施できる業務であるため、適正と考える。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	専門的知識をもった獣医師による巡回指導を実施することで、飼育管理が身に付くため、今後も継続が必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	013
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	小児生活習慣病予防対策事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	学校安全支援課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市教育委員会
実施期間	平成 7 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		生活習慣病予備軍の減少
事業の内容		(1)小学5年生に血液検査を実施し、コレステロール・尿酸・中性脂肪が基準値を超えた児童、保護者に対して、学校医や養護教諭が正しい生活習慣を身につけられるよう指導する。 (2)小学5年生の児童、保護者に啓発用リーフレットをタブレット上へ配布する。
事業 の 対象	何を	正しい生活習慣を
	誰に	小学5年生の児童に
	どのくらい	子どもたちの実態に応じて
令和3年度 (実施内容)		約9割の小学5年生の児童が検査を受けた。令和3年度から、啓発リーフレットをタブレット上に登校し、児童や保護者が閲覧し、健康な生活づくりのために活用できるようにした。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	0	0	65	2
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	68	2	0	0	65	2

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		5,105	238	4,716
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	血液検査	4,862	0	4,716
	リーフレット	243	238	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,105	238	4,716

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	5,173	238	4,781

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	780	0	4,781

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小学校5年生児童	小学校5年生児童	小学校5年生児童
受益者数	3,001	3,225	3,279
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	260	0	1,458

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	採血検査受診率		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	90	90	90	
実績値	87.5	0	87	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	要注意者・要管理者出現頻度の割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	30以下	30以下	30以下	
実績値	32.8	0	32.8	
達成状況	×（未達成）	—	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	高齢化が急速に進展する中で、疾病全体に占める生活習慣病の割合が増加しており、子どものうちから予防していくことの意義は大きい。 市管轄の学校についての事業であるため、市で行うべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	すぐに結果に表れるものではないが、生涯にわたって健康な生活を送っていくために、血液検査の結果に基づき、自分の生活習慣を見直す意義は大きい。 根拠に基づいた指導をするためには、血液検査が有効である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	小学生の内からよりよい生活習慣を意識して生活していくことで、将来の生活習慣予防につながっていく。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市管轄の学校を対象とした本事業は、公費負担が望ましい。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	生活習慣予防の取組を通して、子どもの自己管理能力を育成していくことは重要なことである。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	014
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市学校保健会補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	学校安全支援課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市学校保健会
実施期間	昭和57 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市学校保健会補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		学校保健の強化、推進
事業の内容		(1) 学校及び地域社会における保健思想の普及 (2) 学校保健にかんする調査研究社会のニーズに対応して
事業 の 対象	何を	健康な学校生活
	誰に	児童生徒
	どのくらい	社会のニーズに対応して
令和3年度 (実施内容)		(1) 学校保健思想の普及と啓発 (2) 学校保健関係者の研修 (3) 学校保健に関する調査研究 (4) 活動補助 (5) 広報の企画・普及

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	170	5	163	5	162	5
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	170	5	163	5	162	5

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,462	670	705
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	事務費	34	4	29
	事業費	1,308	606	646
	委託費	120	60	30
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,462	670	705

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		1,632	833	867

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金		96	97	160
市債				
使用料・手数料				
その他		1,414	1,149	727
計(F)		1,510	1,246	887

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		122	-413	-21

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市立学校の児童生徒全員	市立学校の児童生徒全員	市立学校の児童生徒全員
受益者数	30,071	29,879	29,374
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4	-14	-1

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	学校保健研究大会の開催と啓発冊子の発行	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	3	3	3
実績値	3	2	3

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	表彰校数	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	20	20	20
実績値	20	22	24
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	岐阜市立学校の学校保健に関する調査研究等の補助。 学校安全支援課内に学校保健会事務局を置いているため、市が主体となって行うべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市補助金等の限られた予算で各事業を実施している。 岐阜県には県学校保健会があり、さらに各市町村毎に市学校保健会を組織しているため。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	歯の優良児童表彰や研究大会等を開催しているため、有効に事業が実施されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)及び県学校保健会からの補助も受けており、適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	当保健会は、学校保健活動に関する研究大会や表彰式に貢献しており、当会の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340063 015

【1.基本情報】

事業名	性教育研修事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	学校安全支援課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成 20 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		専門医(産婦人科医)との連携による「性に関する教育」の実践を通して、「生命の大切さを理解し、人間尊重、男女平等の精神に基づく正しい異性感をもち、望ましい行動がとれる児童・生徒の育成」を目的とする。
事業の内容		専門医(産婦人科)による講話や研修 ・児童・生徒、保護者、教職員を対象とした講話 ・教職員の研修 指導教材の充実を図る。
事業の対象	何を	専門医(産婦人科医)を講師とした生徒や保護者への講話や教職員の研修
	誰に	児童・生徒・保護者、教職員
	どのくらい	年1回
令和3年度(実施内容)		各中学校、岐阜市立商業高校の生徒、保護者、教職員を対象とした講話を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	102	3	98	3	97	3
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	102	3	98	3	97	3

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		276	276	288
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	医師謝金	276	276	288
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		276	276	288

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	378	374	385

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	378	374	385

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市立中・高等学校の生徒、保護者、教師	市立中・高等学校の生徒、保護者、教師	市立中・高等学校の生徒、保護者、教師
受益者数	3,809	3,702	3,992
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	99	101	96

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	専門医による講話依頼	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	23	23	24
実績値	23	23	24

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	専門医による講話実施率	単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100	100	100
実績値	100	100	100
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	自分や他人の命の尊さについて学ぶことは大変重要な教育である。 性教育の充実は学校教育に必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市産婦人科医会の協力により、安価で講演を行っていただいている。 専門医による指導は大変有効であり、岐阜市医師会と連携して進めている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	自分がかげがえのない存在であることを認識したり、互いの性を認め合ったり、命の大切さを強く感じたりすることができたという成果報告がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全ての中学校において実施している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	性に関する知識だけでなく、豊かな人間性を育み、生命尊重、人間尊重を基盤とした性教育の充実は重要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340063	016
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	B型肝炎ワクチン予防接種事業				
担当部名	教育委員会事務局			学校安全支援課	
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和62 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		B型肝炎の予防			
事業の内容		B型肝炎抗原抗体検査及びワクチン予防接種			
事業の対象	何を	B型肝炎抗原抗体検査及びワクチン予防接種			
	誰に	岐阜特別支援学校の教職員			
	どのくらい	血液検査の結果、予防接種の必要性が認められた者に対して行う			
令和3年度(実施内容)		岐阜特別支援学校の教職員に血液検査を行い、B型肝炎抗原抗体検査及びワクチンの予防接種を行う。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	65	2	65	2
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	68	2	65	2	65	2

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		384	383	376
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	医師謝金	38	38	38
	血液検査手数料	73	74	140
	ワクチン・衛生材料	273	271	198
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		384	383	376

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	452	448	441

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	452	448	441

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜特別支援学校職員	岐阜特別支援学校職員	岐阜特別支援学校職員
受益者数	125	135	136
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,616	3,319	3,240

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	B型肝炎予防接種者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	123	122	132	
実績値	123	122	132	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	B型肝炎感染者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	予防接種を実施しなければ発症する恐れがある。
		岐阜特別支援学校を管轄する岐阜市が実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	予防接種にかかるワクチン代や検査料がかかるが感染者が発生しない。
		岐阜特別支援学校の教職員は子どもとの直接なふれ合いが多いため、市で実施すべきである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	予防接種を行うことで感染者が発症しない。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	子どもとの直接のふれ合いが多い特別支援学校の教職員にかかる検査や予防接種は公費負担が望ましい。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	安心安全を確保するためには、本事業は継続する必要が妥当である。